

地域から日本を変える Local Initiatives Transform Japan

サポーターズタイムズ

Supporters Times

2005年(平成17年)
5月1日(毎月1日発行)

No. 118

発行所

秋葉けんやサポーターズ事務所
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈字4-17-16
Tel 022(375)4477
Fax 022(375)0057
E-mail:office@akiba21.net

購読料 年額6,000円
振込先 秋葉けんや後援会
口座番号 七十七銀行本店(普)6385206
仙台銀行黒松支店(普)2336691
郵便振替 02290-2-37770
編集 関アクトジャパン

衆議院議員秋葉けんや政策・活動リポート

理想主義の志を貫きます!!

58,023票。本当に多くの皆様のご支援のお陰で、大変厳しい選挙戦を勝ち抜くことができました。改めて厚く御礼と感謝申し上げます。今後とも初心を忘れることなく、公約の実現に向けて全力投球していく決意です。

当選が決まった翌々日には、早速、初登院し、本会議に出席するという慌ただしさで、毎日があっという間に過ぎていくハードスケジュールが続いており、お世話になった皆さんに充分なご挨拶回りができずに忸怩たる思いです。

国会で所属する委員会は、外務委員会を第一希望に、文部科学委員会を第二希望、そして、総務委員会か環境委員会を第三希望にと考えていました。しかし、私の希望は一切聴取されることなく、法務委員会(法務省を所管する)に所属することになりました。思っていたよりも守備範囲の広い委員会であり、今回大幅改正が予定されている会社法なども所管となっており、その所管となる法律数も230以上になります。また、今回の補選で度々応援にお出でいただいた若手No1の政策通で知られる塩崎恭久さんが委員長ということもあり、まずは一生懸命勉強してみたいと思っています。

新米「代議士」として既に数週間経ちますが、よく言う「金帰火来」(金曜日に地元に戻って火曜日に国会に戻る)どころか、今のところ「週に最低2回は仙台と東京を往復」して、できるだけ地元の行事にも出席できるように頑張っています。基本的に通常国会中は「本会議は火・木・金」、「法務委員会が火・水・金」に開催されますので、火曜日から金曜日までは必ず何かしら会議があることとなります。特に火曜日と金曜日は朝から晩まで1日中会議となります。県議会との最大の違いは、その期間の長さはもちろんですが、正式な議事日程が直前にならないとわからないということです。前日か前々日にならないと最終的な日程が決定しないために、先々の予定がまったく立てられないことが一番困ります。

いずれにしても、代議士として、理想主義の志を貫き、何かしら自らの専門分野を極めるとともに、480名の衆議院議員のなかでも一際光りを放てる存在になるよう研鑽して参ります。そして、国民の皆さんのニーズに応えるため、決して官僚に丸投げせずに、自らがローメーカー(立法者)として、意欲的に議員立法を手掛けていきたいと考えています。



衆議院議員

秋葉賢也

秋葉賢也議員は法務委員会(委員数35人、委員長 塩崎 恭久)に所属しました。

法務委員会の所管事項

法務省の所管に属する事項
裁判所の司法行政に関する事項

法務委員会の国政調査案件

裁判所の司法行政に関する事項
法務行政及び検察行政に関する事項
国内治安に関する事項
人権擁護に関する事項

現在開会中の第161回通常国会に法務省提出予定の法案は下記の通りです。

(新規提出予定法案)

1. 裁判所職員定員法の一部を改正する法律案
2. 下級裁判所の設立及び、管轄区域に関する法律の一部を改正する法律案
3. 不動産登記法等の一部を改正する法律案
4. 会社法案
5. 会社法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律案
6. 船舶の所有者等の責任の制限に関する法律の一部改正する法律案
7. 刑法等の一部を改定する法律案
8. 少年法等の一部を改定する法律案
9. 刑事施設及び受刑者の処遇等に関する法律案

(継続提出予定法案)

1. 犯罪の国際化及び組織化並びに情報処理の高度化に対するための刑法等の一部を改定する法律案

(検討中提出予定法案)

1. 人権擁護法案

法務省の紹介(法務省パンフレット「はじめに」を引用)

私たちが社会生活をいとなんでいくためにはルールが必要です。

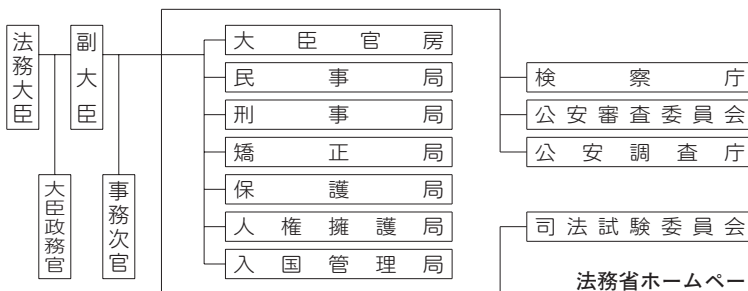
親子・兄弟など親族関係が正しく整理・登録されることを始め、多額の資金を出して買った家に安心して住むことができること、工場で加工されるための資材が間違いなく手に入れられることなどがきちんとルール付けられ、確保されなければなりません。また、他人を傷つけたり、ものを盗むような行為をした人がきちんと処罰されることも、この社会を維持していく上で欠かせない仕組みです。

法務省は、このような日常生活における基本的なルール(基本法則)を定めるとともに、そのルールがきちんと守られるような司法の基本的な仕組みや、検察・矯正・更正保護という犯罪を犯した人を処罰するとともにその社会復帰を援助するための制度、登記、公証のような権利の実現をたすける制度の運営に携わっています。また、人権が尊重されるよう努めたり、外国人の出入国が適切に行われるようにすること、さらに、社会の安全を守るために必要な調査等を行うことなども、法務省の大事な仕事です。



法務省庁舎

法務省の機構図



本当にお世話になりました。 当選までを振り返って！

1月19日 自民党が宮城2区衆議院補選公認者の公募を発表

安倍晋三幹事長代理は記者会見し、宮城県2区の公募を2月1日から開始する実施日程などを発表した。安倍幹事長代理はわが党の改革が着実に進んでいることを改めて強調した。

2月1日 秋葉賢也県議が自民党公認者公募に応募

2月10日 公認者の公募締め切り 27名応募

秋葉賢也県議をはじめ、大学教授、サラリーマン、主婦など多彩な人材が応募、菊地文博県議は応募を見送った。

2月19日 最終選考者市内2ヶ所で街頭演説

最終まで残ったのは秋葉賢也議員と、ともに東京都在住の会社員、阿部司氏(32)、鈴木啓功氏(38)で、いずれも県内の高校や大学を卒業している。3人は泉区役所前と青葉区一番町でそれぞれ十分間ずつ、政治への所信や国政で実現したい政策を訴えた。

秋葉議員は県議会で議員提案条例を手掛けた実績を踏まえ、「しがらみのない若い力で仙台から日本の政治風土を塗り替えたい」と強調。

阿部氏は経済や外交、福祉の分野で持論を展開しながら、「土建国家から知財国家に産業の軸足をシフトさせることが必要だ」と話した。

鈴木氏は昨年までインドネシアに10年間駐在した経験を紹介。「現場からの視点で国民が安全に楽しく暮らせる社会を実現したい」と語った。

同時に聞いた市民に内容を評価してもらった街頭アンケートも実施し、この日行われた政策発表会と面接の結果、論文や党員アンケートなども考慮し、公認候補を内定する。

2月24日 自民党公認者内定

宮城県支部連合会は自民党公認候補者公募で、秋葉賢也県議を公認内定者とすることを決定。仙台市内で二階俊博総務局長、同県連の市川一朗会長らが記者会見した。最終選考は選考委員会による面接や論文審査、街頭での政策発表会などが行われたが、市川県連会長は「秋葉氏はいずれもトップだった」と説明。「バランスのとれた経験豊富な方」と評価した。決定を受け、秋葉氏は「私を除く(公募に応募した)26人の『政治を何とか変えていかなければいけない』という熱い思いを受けとめ、故郷宮城の地から日本の政治風土を塗りかえていく決意で頑張りたい」と力強く訴えた。

3月2日 宮城2区衆議院補選出馬声明

秋葉賢也議員は、仙台市の自民党県連で記者会見し、民主党門間氏や無所属菊池氏に約2ヶ月遅れ、正式に出馬を表明するとともに選挙公約を発表した。秋葉氏は「国会議員の役割は予算の運び人ではなく、ローメーカー(立法者)だ」と指摘。「3期10年の議員生活で培った地方の視点からこの国の将来を見つめ、政策論争を中心に選挙を戦いたい」と訴えた。選挙公約は産業振興・景気回復や教育立国、地球環境の保全など6分野20項目。具体的には起業や創業が容易な環境整備や警察官の増員、道州制の導入などを掲げた。

3月9日 自民党公認証書授与

秋葉候補へ、小泉純一郎総裁(総理)から宮城2区衆議院補選公認証書を授与される。

3月30日 安倍晋三幹事長代理「ストリート Live in Sendai」

安倍晋三幹事長代理は秋葉候補の選挙応援に仙台入りし、秋葉候補と宮城野区や若林区を練り歩き。青葉区では「ストリート Live in Sendai」と題して路上トークを展開した。会場は平日の昼間にかかわらずサラリーマンや主婦の方々が足を止め、2人の「ゲリラ Live」に興味津々な様子。安倍幹事長代理は「仙台には小さい頃に七夕で来たことがある。今年からは楽天主も来ますね」と切り出し、「仙台好き」をアピール。今回行った公募について「政治に対する信頼を回復するためにガラス張りの中で秋葉賢也さんを選んだ」と公正・公平、オープンな選挙を行ったことを強調した。これに対し、秋葉議員は「この国の将来を何とかしたいというたくさんの人の思いを引き継いで頑張っていく。われわれのような世代が10年先、20年先の日



本のために改革の先頭に立っていかねばいけない」と述べ、議員提出条例日本一を誇る宮城県議会最大会派の政調会長の実績を引き下げ、公募に応募した27人の代表として日本の政治を正す戦いに挑む決意を訴えた。

4月12日 衆議院宮城2区補欠選挙の告示

東北と九州をけん引する二つの都で、政党対決の火ぶたが切られた。衆議院宮城2区と福岡2区の統一補欠選挙が告示され、与野党は仙台市と福岡市で激しい舌戦を繰り広げた。党首や幹事長らは攻防の舞台を国会から街頭に移し、秋葉候補とともに絶叫。与党が「野党に政権は任せられない」と訴えれば、野党は「自民党政治を終わらせる」と意気込んだ。列島の北と南でプライドをかけた総力戦が始まった。

自民党は安倍晋三幹事長代理はJR仙台駅東口で秋葉候補を応援。開口一番、民主党陣営の選挙違反事件を挙げて、「違反の山を築き、だまし取った議席。自民党が信頼を取り戻す」と叫んだ。

プロ野球・東北楽天ゴールデンイーグルスのジャンパーを着て自転車にまたがるパフォーマンスも披露。「乗るのは何年ぶりかな」と苦笑しながら、1キロ余りを手を振って走った。

4月18日 小泉純一郎総裁(総理)選挙応援のため来仙

小泉純一郎総裁(総理)は衆議院宮城2区補欠選挙に立候補している秋葉候補を応援するため、仙台入りし、市内2カ所で街頭演説し、「愛と希望とバイタリティで頑張って!」と激励した。小泉総裁は秋葉候補について「公募で選ばれた42歳。国会議員の経験を生かしながら、国政に生かして自民党を変えようとしている。私も変えようと必死なんです」と訴えた。

4月24日 補欠選挙の投票日

衆議院統一補欠選挙で、秋葉候補者が当選。陣頭指揮にあたった武部勤幹事長は記者会見を開き「内外ともに大変な時に責任と実行の与党の姿勢が、大きな信頼につながったのではないかと述べ、政治の信頼回復へさらに努力を重ねていく姿勢を示した。



皆様のお力添えで当選することができました。
誠にありがとうございます。



秋葉けんや事務所のご案内

5月から、仙台事務所にスタッフが常駐となりました。
若生博康、岩沼宏幸、田口亜由美の3名が在籍。
お近くにおいでの際は、お立ちより下さい。

7月19日から、新住居表示が実施されます。
電話、FAX番号は変更はありません
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈4丁目17番16号
電話 022-375-4477
FAX 022-375-0057

国会事務所を開設

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館632号室
電話 03-3581-5111 (代表)
03-3508-7392 (直通)
FAX 03-3508-3632

秋葉 賢也 (あきば けんや) プロフィール

- 昭和37年7月3日宮城県生まれ、42才。
- 角田高校を経て、中央大学法学部卒業。東北大学大学院法学研究科博士課程前期修了。
(財)松下政経塾卒塾(宮城県初)。
- 衆議院議員、法務委員会委員、保護司、宮城県都市計画審議会委員、宮城県私立学校審議会委員、宮城県トライアスロン協会副会長、宮城県セーリング連盟顧問など多方面で活躍中。
- 著書:「地方議会における議員立法」(文芸社)、「東北の夢創造」(ぎょうせい)。
- 趣味:野球・空手・ジョギングなどスポーツ、音楽、読書、映画。

